

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：材津 睦美

書いた日：2024年5月14日

こんにちは、新緑の季節となりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。今月のコラムは材津が担当します。先日、私が訪問している支援学校との今年度の連携の打ち合わせがありました。打ち合わせでは、まず今年度のコーディネーターの先生との顔合わせをして、対象となるこどもたちと、その担任の先生の相談したいこととお聞きしました。そこで感じたことを少し書かせて頂きます。

支援学校との連携は今年度で7年目になりますが、継続して関わっているお子様も多く、新たに相談したいと言ってくる先生も、徐々に増えています。先生が信頼して相談して下さっているということが伝わって来てとてもうれしく思いました。

わたしは病院勤務で身障分野しか経験がなかったので、支援学校の訪問はまったく新しいことへの挑戦でした。私に務まるか、不安も多くありました。支援学校ってどんなところ？というところから調べるレベルです。しかし、同じく学校に訪問されているOTと一緒に勉強させていただき、さらに支援学校の先生からは温かく迎えて頂き一緒にこども達の事を考え悩み勉強しあい連携をはかって来ました。

こども達と関わる上で、こども達を取り巻く環境に目を向けることも多くなりました。岩手県は広く、医療資源も内陸部に集中しております。私の住む沿岸部のパパママたちは長時間かけて内陸部に通っておられます。

このような現状の中、今はお子様の成長を見守り、地域のこどもたちに関わっている事を大変うれしく思っています。まだまだ力不足、知識不足ですが、これからも先生方と学び合い地域のこども達の成長を見守りたいと思う今日この頃です。

8月3日には特別支援教育と作業療法フォーラムとOT向けの研修会があります。興味のある方は是非一緒に学び合いましょう！

